

授業科目 解剖学 I

| | | | | |
|-----------------------|------|----|------|-------|
| 【担当教員名】 山田 まりえ | 対象学年 | 1 | 対象学科 | 理学・作業 |
| | 開講時期 | 前期 | 必修選択 | 必修 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 15 |

【カリキュラムポリシーとの関連性】

| | | | | |
|-------|-------|-------|----|-------|
| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
| ◎ | ◎ | ○ | ◎ | |

【概要・一般目標：G10】

解剖学 I では、人体の基本的構造を全体的に理解する。特に運動器、神経系以外の器官・組織系、内臓系（消化器・呼吸器・尿生殖器）、循環器系、感覚器系、内分泌系についてそれぞれの形態・構造を理解する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 解剖学、形態学とは何かを説明できる。
2. 組織を構成する細胞の構成要素の名称と簡単な機能を説明できる。
3. 種々の組織の分類とその特性を概説できる。
4. 解剖学的姿勢を説明し、解剖学用語を適切に使える。
5. 消化器系を構成する器官、その付属器の名称、位置を説明できる。
6. 鼻腔から肺胞に至る気道を構成する各器官の名称、位置を説明できる。
7. 尿生殖器系を構成する器官の名称、位置ならびに簡単な機能を説明できる。
8. 主な内分泌腺の名称と位置、分泌されるホルモンの名称を言える。
9. 心臓の位置、各部位の名称を言える。大循環・小循環を概説できる。
10. 特殊感覚を司る各器官の名称、位置ならびに簡単な作用を概説できる。
11. 口腔・顎顔面部の発生の概略を理解し、説明できる。

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | SBO 番号 | 学習方法・学習課題 備考・担当教員 |
|----|---------------------------|-----------|----------------------|
| 1 | 解剖学序論 解剖学とは 解剖学用語 | 1, 4 | 講義 |
| 2 | 組織学 組織学総論 細胞と四大組織 | 2, 3 | 講義 |
| 3 | 内臓学 - 1 消化器系、呼吸器系 | 5, 6 | 講義 |
| 4 | 内臓学 - 2 尿生殖器系、内分泌系 | 7, 8 | 講義 |
| 5 | 循環器系 - 1 心臓 | 9 | 講義 |
| 6 | 循環器系 - 2 大循環と小循環 | 9 | 講義 |
| 7 | 感覚器系 味覚器、視覚器、平衡聴覚器、嗅覚器、外皮 | 10 | 講義 |
| 8 | 人の発生 頭頸部・顎顔面部の発生 | 11 | 講義 |

| | | | | |
|-------------------|-------------------------|-------|-------|-------------|
| 【使用図書】 | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格 他> |
| 教科書 (必ず購入する書籍) | 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の為の解剖学 | 渡辺 正仁 | 廣川書店 | 2000・5,500円 |
| 参考書 | 人体解剖学 | 藤田恒太郎 | 南江堂 | 2000・9,233円 |
| その他の資料 | | | | |

【評価方法】

出席状況・態度（遅刻、私語、居眠り等）、期末試験の総合評価

【履修上の留意点】

短期間で広範囲を勉強します。欠席をせず、復習を欠かさないことが重要です。